

令和6年度 第2回 総合教育会議 会議録

開催日 令和7年2月6日(木)

場 所 武豊町役場 全員協議会室

出席者氏名

町 長	靱山 芳輝			
教 育 長	榊原 寛二			
教育長職務代理者	浅野俊太郎	委 員	森田 教夫	
委 員	鋤柄佐千子	委 員	堤田 綾子	
総 務 部 長	池田 武彦	企 画 部 長	磯部 好文	
企画部次長兼企画政策課長	森田 良孝	教 育 部 長	近藤 昭子	
学 校 教 育 課 長	森田 光一	生涯学習スポーツ課長兼中央公民館長兼歴史民俗資料館長	横田 寛	
町民会館事務長	長谷川貴彦	学校教育課課長補佐	小坂井絵美	
学校教育指導主事	神谷 俊輔	学校教育指導主事	小田島 健	

1. 開会 午後3時00分

(教育部長)

皆様、こんにちは。本日はご多用の中、ご出席をいただき厚くお礼申し上げます。定刻になりましたので、只今から令和6年度第2回総合教育会議を始めます。

本日の会議につきましては、議事録を作成するため、録音をいたします。議事録につきましては、後日町ホームページにて公表しますのでご了解ください。また、本日の進行につきましては、お手元の次第に沿って進めますので、よろしくお願いいたします。

2. あいさつ

(教育部長)

それでは、靱山町長よりごあいさつをお願いします。

(町 長)

皆さんこんにちは。武豊町長の靱山芳輝です。日頃は武豊町の教育の充実に向け、それぞれの立場からお力添えをいただき大変感謝申し上げます。また、本日は、ご多用の中、令和6年度第2回武豊町総合教育会議にご出席いただき、重ねてお礼申し上げます。

さて、令和6年は、武豊町制70周年記念として、7月の「衣浦みなとまつり花火大会」を皮切りに、8月に「NHK のど自慢」、9月に商工会主催の「ちょうちん行列」、10月に「町制 70 周年記念式典」、そして一週間後に「第7回ふれあい山車まつり」など、多くの行事を実施してまいりました。こうした各種イベントを通じて、人と人とのつながりが深まり、地域の魅力を改めて実感する絶好の機会になったものと思っております。

教育関係の施策といたしましては、この後の報告事項にもあります、「コミュニティ・スクール」を、今年度より衣浦小学校をモデル校として開始しました。「地域とともにある学校づくり」と「学校を核として地域づくり」を進めており、他の小中学校にも順次導入を進めてまいりたいと考えております。

本日は、「令和7年度の武豊町の教育指針」「コミュニティ・スクール」「地域クラブ活動の推進」について、現時点での報告をいたします。町といたしましても、来年度の教育活動のために、可能なかぎりの支援と共通理解の姿勢で、学校教育を支えてまいりたいと考えております。

本日ご参会のみなさまには、それぞれのご専門の立場から多くのご意見をいただきますようお願いいたしまして、私からのあいさつとさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

(教育部長)

次に、榊原寛二教育長よりあいさつをいただきます。

(教育長)

皆様、こんにちは。教育長の榊原寛二でございます。

ご多用のところ、ご出席いただきありがとうございます。また、日頃より、教育行政に対しまして、ご理解とご支援を賜り、重ねてお礼を申し上げます。とりわけ、昨年度の体育館エアコン設置に際しましては、町長さんをはじめ幹部の皆様には教育条件の整備へのご配慮に深く感謝申し上げます。昨年は、夏から秋にかけて暑い日が長く続きましたが、安全安心の体育館で、体育の授業や部活動、各種行事を行うことができました。来月の卒業式では、暖かい体育館で、卒業生の晴れの門出をお祝いできることにありがたい気持ちでいっぱいです。

それでは、私からは、学校関係で、2点の情報提供をさせていただきます。1点目は、学校のインフルエンザなどの感染症の状況です。町内小中学校では、2学期末には学級閉鎖を行った学校もあり、感染拡大が心配されましたが、3学期に入ってから、1月中旬に町内の1学級が学級閉鎖になって以降は減少傾向にあります。現在、学校では、引き続き感染予防に留意して教育活動を進めているところです。本年度の高校入試では、私立高校の入試が終わり、本日は公立高校の推薦入試が行われ、今後は公立高校の一般入試も行われます。受験生のみなさんには、体調万全で実力を発揮してくれることを願っております。

2点目は、中学校の制服改定です。昨年度末、児童生徒、保護者のみなさんの投票により、令和7年度から着用する新制服が決まりました。武豊町では、例年、小学校の卒業式には、卒業生が中学校の制服を着て参加することが多いため、既に、制服の注文もほとんど終わっているそうです。また、制服改定委員会では、ネクタイとリボンの着用は自由としましたが、業者の方の話では、お店で子どもたちが新制服を試着する際にネクタイやリボンを付けてもらうと、「高校生みたい」であったり「かわいい」であったりとの反応で、子どもたちから好評であるとうかがっております。多様性や快適性・機能性にも考慮した新制服ですので、「子どもたちが着たいと思える」「保護者の方や先生方が着せたいと思っていただける」ことを今後も願っております。来月の小学校の卒業式や、4月からの登下校時に新制服を着た子どもたちの姿を楽しみに待ちたいと思います。

以上2点、私からご報告させていただきました。最後になりますが、本日は、皆様から、今後の教育行政へのご示唆をいただきたく大変ありがたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

(教育部長)

本会議の出席者の確認につきましては、次第裏面にございます出席者名簿をもって代えさせていただきますので、ご了承ください。

3. 報告事項

(教育部長)

それでは、「報告事項」に移ります。「(1)学校教育の指針、重点施策について」、事務局からお願いします。

(指導主事)

私からは、武豊町学校教育の指針および重点施策について説明します。

現在の武豊町学校教育の指針・重点施策は、第6次武豊町総合計画を受けて令和3年度にまとめられ、その後、毎年少しずつ改訂をしています。

令和7年度の変更点を中心に説明させていただきます。学校教育の目標から、具体的な学校の姿までについて、変更はありません。本年度の重点努力目標及び指導の重点についても、昨年度と同じ6つの項目を挙げています。内容の変更としては3点、
③不登校の子供の自立を目指した組織的支援として、今年度教育委員会で作成した「不登校支援ガイド」をもとにした居場所についての情報提供を追加

⑤教職員の働き方改革の推進について、中学校の休日部活動を知多地方体育大会後に原則なしとすること

⑥社会に開かれた学校の実現について、コミュニティ・スクール導入校を拡大し、令和7年度、町立小学校2校で実施していくことを盛り込んでいます。

学校教育の重点施策を構造図として、お示しさせていただきました。下部、推進のキーワードとして、従来あったものに加えて、武豊町不登校支援ガイドの活用と休日部活動の原則廃止の語を追加しております。ご確認いただき、ご意見をいただければと思います。以上です。

(教育部長)

只今の報告事項につきまして、ご質問等がありましたらお願いします

(教育部長)

ご意見無いようですので、次に進みます。「(2)コミュニティ・スクール」について、事務局からお願いします。

(学校教育課 課長補佐)

私からは、今年度からスタートしましたコミュニティ・スクールの取り組みについてご報告させていただきます。

武豊町では、未来を担う子どもたちの成長を支えるため、地域と学校が連携、協働し、地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりの実現を目指し、コミュニティ・スクールの制度を導入しました。今年度は衣浦小学校をモデル校として、話し合う場である学校運営協議会と活動する場である地域学校協働本部の仕組みを導入し、来年度以降、段階的に町内小中学校校単位として導入拡大を進める予定です。衣浦小学校では、6月21日に第1回の学校運営協議会を開催し、委員の任命や会長、副会長の選任がされました。また、学校長より、教育目標及び学校経営計画等の基本的な方針が説明され、協議会にて承認されました。第2回の学校運営協議会は、9月19日に学校訪問と合わせて開催し、委員の皆さんに授業を参観していただきました。電子黒板やタブレットの使用により、学びを深める環境が整っているであるとか、歌声が素晴らしい、落ち着いて授業ができているなどのご意見や感想が聞かれました。

学校運営協議会は年3回の実施を予定しており、第3回は2月18日に開催予定です。地域学校協働本部の活動としましては、1学期4月には地域で酪農を営む方のご厚意により子牛との触れ合い体験、5月には学校近くに田んぼを持つ方のご協力により、総合的な学習の一環として田植え体験を行いました。2学期には、10月校外学習のサポートとしてボランティアの方に消防署見学に付き添っていただき、12月年末大掃除ではPTAやボランティアの方々による低学年トイレの清掃など、普段はなかなか手が回らない箇所の清掃で学校を支援してもらっています。他にも、津波避難訓練のお手伝いに入っただくことや、家庭科の授業ではミシンの使い方や縫い方の説明といった個別対応、クラブ活動では地域の方にゲストティーチャーとして参加、九九の学習では九九検定という呼び方で、九九がスラスラ言えるか聞いてもらうなど、地域や保護者の方々の支えにより、学びが一層充実しています。

これらの取り組みについては、衣浦小学校の学校だよりでも紹介されております。また、コミュニティ・スクールについて地域の方へも広く知っていただくため、パンフレットを作成し、10月に衣浦小学校の学区の方へ配布いたしました。今後、導入拡大の際には、新たに導入された学区の方に向けて配付していきます。

コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の推進、充実の側面では、愛知県が実施するコミュニティ・スクール地域学校協働活動コンサルタント派遣事業を武豊町でも活用し、専門家の派遣により指導助言等をもらうことで、コミュニティ・スクールの取り組みの質的向上を図りました。他にも全国コミュニティ・スクール連絡協議会会長で東京都三鷹市の教育長を招いたり、先進校視察として岐阜市立岐阜小学校の視察に行ったりと、機会を捉え、コミュニティ・スクールの効果を高めていくよう努めています。コミュニティ・スクールは地域と学校の特色により活動は様々です。本町ではモデル校の衣浦小学校の取り組みを参考として、来年度は緑丘小学校へ導入拡大を予定しております。今後も、武豊町の子どもたちの幸せにつながる本町にあったコミュニティ・スクールや地域学校協働活動等を展開していきます。報告は以上です。

(教育部長)

只今の報告事項につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

(教育部長)

ないようですので、次に「(3) 地域クラブ活動の推進」について、事務局からお願いします。

(スポーツ課長)

「地域クラブ活動の推進について」説明します。12ページの資料は令和6年4月10日付で小中学校の保護者へ「地域クラブ活動推進事業と武豊町の中学校部活動について」お知らせしたものです。

令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁において策定された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を受け、武豊町内中学校でも部活動の活動日、活動時間が減少しています。武豊中学校では、令和5年度より、月に土日の活動は2回、富貴中学校は、令和4年度より土日の部活動を原則実施しておりません。また、平日の活動も両校とも午後5時までを目途としており、日が短くなる11月～1月は活動を実施していません。このように町内の中学生が、スポーツ・文化芸術活動に親しむ機会は減っているのが現状です。

地域クラブ活動推進事業は、中学校部活動の「かわり」を作るのではなく、子ども達が生涯にわたり、地域で多様なスポーツ・文化芸術活動に親しむ体制の推進を目指すものです。地域で子ども達をはぐくむ視点を大切に、既存の地域クラブ団体や総合型スポーツクラブと連携協力し、事業を推進してまいります。

スケジュールについては、令和6年度より「地域クラブ活動のモデル事業」を開始し、既存のスポーツ・文化芸術団体に、参加を希望する町内小中学生を受け入れていただいております。資料には、「地域クラブ活動のモデル事業」に参加している団体の一覧を載せております。現在の参加団体は、卓球、陸上、バスケ、新体操、ビーチボール、剣道、柔道、空手、サッカー、プロギング、演劇、和太鼓の14団体です。年度当初から団体数は増えておりませんが、ジュニアブラスバンドを種目とする地域クラブの立ち上げについて相談を受けており、将来的な地域クラブの創設を見据えて、学校開放施設となる武豊中学校の施設警備機器を新設する費用を計上するなど、来年度に向けて必要な予算措置を行ったところであります。一方で、地域の方と連携しながら力強く事業を推進するコーディネーターとなる事務局担当職員の設置が叶いませんでした。令和6年度は、町制70周年記念事業の実施や人員体制の問題もあり、教育委員会内の関連会議や、地域スポーツ・文化芸術団体との準備委員会などを開催することができておりません。令和7年度早々にコーディネーターを設置して、既存の地域クラブ団体などと連携協力をし、事業を進めてまいりたいと考えております。

次の資料は、令和6年12月に町内の小学校4～6年生と中学校1年生を対象として、「地域クラブ活動」について意識調査を実施した結果をまとめたものです。調査目的は、小学生や中学生が学校の外で、スポーツをしたり、文化・芸術活動をしたりする場所づくりのための資料とするものであります。結果については、後刻お目通しいただければと思います。今後は、これら資料をまとめ、改めて児童・生徒保護者に配布をする予定です。この資料を通して、中学校部活動の方針や今後の展開、地域クラブ活動の紹介をしたいと考えております。

最後に、この事業は、中学生の部活動の代替や、教職員の多忙化解消にとどまらず、子ども達が生涯にわたり、スポーツ・文化芸術活動に親しむ体制づくり、そして新たなコミュニティの創設につながる事業であると考えております。現在、将来の子どもたち、そして地域の方々ための事業となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。以上です。

(教育部長)

只今の報告事項につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

(教育部長)

特にないようですので、これで報告事項を終わります。

4. 意見交換

(教育部長)

続きまして、本来であれば協議事項に移りますが、今回、協議事項はありませんので、そのまま意見交換を行います。

(教育委員)

コミュニティ・スクールについては、まだまだ手探りの状況であろうかと思いますが、ともに活動しようと、手を挙げていただいた方々は、志をお持ちの方ばかりであろうかと思います。よりよい活動になっていくことを期待します。

また、地域クラブについては、これまで部活動になかった種目にチャレンジする機会が持てるのはとてもよいことです。一方で、大会参加については、様々な主催者と協議をして、子どもたちが自己研鑽の中で自分をどこまで高めていけるのか、活動する子どもたちの意思が大切でしょう。この競技がやりたいけど、開催されていないということも起こり得ますが、少しでも多くの活動の場を用意していただき、よい形で活動が行えるよう期待しています。

(教育委員)

学校教育の重点施策に、令和6年度と同様「知・徳・体」を大切にしていけることが掲げられています。授業で各教科について学ぶこと、それによって知識を習得することは、とても大切です。

また、不登校、いじめ問題、命の大切さを学ぶ道徳もこれまた重要であります。

体力面では、子どもたちの体力の低下が全国的に進んでいるという記事を以前新聞で読んだことがあります。その記事中には、スポーツ庁の調査で、愛知県は小学校5年生の男子は全国最下位、女子は45位、中学2年生の男子は46位、女子は44位と低い結果だったそうです。私が子どもの頃と比べると、武豊町でも外で子どもたちが遊んでいる姿を見る機会が少なくなっています。テレビやスマホで動画を視聴する時間が以前よりも伸びていたり、塾等で子どもたちが多忙な日々を過ごしていたりすることが原因かと考えます。子どもたち、特に小学生には、体を鍛えること、運動機能を高める活動を通じて、結果体力の向上につながる、そんな取組をしてもらえるとよいと思います。

これも新聞記事からの引用ですが、次年度以降オリンピック経験者を教員として採用するという動きがあるそうです。オリンピックが指導者になんて変わって、子どもたちにスポーツの楽しさや、うまくできた、できるようになった嬉しさを子どもたちに伝えてもらえればと思います。

(教育委員)

今年度、武豊町では、5年ぶりに国際交流事業で、中学生の代表の方がオーストラリアへ派遣されたとのことでした。インターネット等を使って交流をすることももちろんできますが、実地に行くことで得た学びは、ネットを通じたものよりもきっと多くあったのではないかと思います。生徒は個人個人それぞれの個性があるので、その個性にあった経験をしてくる、一人一人の経験が違うと思います。交流事業は、短い期間であっても、大変な時もあっただろうし、嬉しくてしょうがなくなっちゃったこともあったと思います。そういった経験を、次の事業に参加する人へ伝えてくれるとよいと思いました。

(教育委員)

令和6年度、7年度の武豊町の学校教育で、大きな変更点と言えば、やはりコミュニティ・スクールの実施があらうかと思います。今年度衣浦小学校をモデル校としてスタートし、やはり学校の地域性というか周りの環境や地域の方々のよいところを活かした活動、田んぼの教育や酪農ができているとのことで、今後拡大していく他の学校でも様々

な活動が行われることを期待しています。

地域クラブ活動推進事業については、令和7年の夏から中学校の土日の部活動がなくなるということで、小中学校の運動場や体育館といった施設を、上手にクラブに活用していく方法、学校施設開放へつなげていくことができればよいと考えます。

学校給食センターの建て替えについてもお話がありましたが、町による給食費の補助は本当に保護者にとってありがたい事だと思っています。学校のホームページにて、給食の写真をアップロードしている様子を見て、本当に武豊町の様々な支援を得て、充実した給食を食べることができていると感じます。

給食費だけでなく、支援員等の人的な配置も本当に手厚く行われています。年々配慮が必要なお子さんが増加している中で、病院は逆に減っていくような世相の中、子どもたちが落ち着いた学校生活を送ることができるように手伝っていただける、支援員の方の存在は、とても貴重であり、今後もっと必要となってくることでしょう。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

(教育部長)

ありがとうございました。それでは、本日は行政の方からも参加をいただいておりますので、順番にお話をいただきしたいと思います。

(総務部長)

本日は町の教育費、特に学校関係の予算および執行状況についてお話しさせていただきます。

始めに、令和6年度予算では、衣浦小学校 北館校舎外壁改修工事、を始めとして富貴小学校の横断歩道橋補修工事、武豊中学校 体育館照明改修工事、富貴中学校の外壁改修及び防水改修工事、など、様々な、施設維持に係る事業を実施させていただきました。武豊小学校南館校舎トイレ改修工事など、現在施工中のものもありますが、教育委員の皆さま、児童・生徒・教職員を始め、保護者の皆さま方には、工事期間中のご理解ご協力を頂き、ありがとうございました。

また、8月に実施しました、5年ぶりとなるオーストラリア派遣事業は、町制70周年を記念に、再開を祝し、国際交流を前進させるものとなりました。児童・生徒始め多くの関係者の記憶に残る事業となったものと考えております。

続いて、令和7年度の予算編成の状況のうち、学校教育関係の予算につきまして、お話しさせていただきます。お話しさせて頂く内容につきましては、2月27日に開会します、令和7年 第1回定例会で審議をしていただき、決定となりますので、ご承知おきください。

始めに、小中学校の施設の維持管理について、学校ごとに主だった工事について申し上げます。武豊小学校 武豊小体育器具更新工事(鉄棒)、衣浦小学校 衣浦小南館校舎トイレ改修工事設計業務委託、工事は次年度を予定しております富貴小学校 富貴小パソコン教室普通教室化改修工事、緑丘小学校 遊具更新工事、武豊中学校 プール改修工事、富貴中学校 木工室及び昇降口屋上防水改修工事、となっており、この他にもいくつかの工事を行う予定をしております、工事にかかる予算総額は3億円ほどになります。

次に、老朽化が進む学校給食センターの建替え工事を、令和7年度から実施し、令和8年9月の供用開始を目指します。整備事業費として、約 31 億円、うち令和7年度は12億円強の予算を計上しております。また、給食費につきましても、賄い材料費の物価高騰分を支援することとし、小学校では一食あたり 50 円、中学校では一食あたり 60 円

を公費で負担することとしております。

また、教育費予算としましては、いじめ不登校対策費として、新たに開設を予定しております、(仮) 富貴ステップの整備費用についても予算配分させていただきました。その他、スクールアシスタントを始め各種支援員などの、人的な予算等も継続することとしており、歳出に占める教育費は 34 億 7 千万円あまりと、令和 7 年度一般会計予算においても、民生費に次ぐ 2 番目の割合となっております。

今後も、児童生徒が安全、安心に学校生活がおくれるよう、緊急度等も見据えながら、環境を整備してまいります。以上、簡単ではありますが、町予算に関する報告とさせていただきます。ありがとうございました。

(企画部長)

記念事業に際しましては、教育委員の皆様をはじめ、多くの関係者の方々のご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。お陰をもちまして、どの事業においても本当に天候に恵まれ、素晴らしい晴天の中、多くの方々にご来場いただき、楽しんでいただくことができたと考えております。

さて、企画部では、企画政策課と秘書広報課を所管しておりますが、企画政策課の関係につきましては、後ほど課長よりお話しさせていただきますので、私からは秘書広報課の関係で 2 点ほどお時間をいただきたいと思います。

1 点目は、職員採用の関係であります。小・中学校の教員の採用については、近年厳しい状況にあるとの報道がされております。本町の職員採用事情においても、ここ数年同様な状況があり、職員確保に苦慮しているところであります。特に、保育職については、職員需要が増加する一方、保育士を目指す学生数が減少しているとのことで、受験者数が近年大幅に減少してきております。一般行政職につきましても、受験者数は減少傾向ではありますが、ある程度の人数は確保できている状況にあります。しかしながら、ほぼ全員が他自治体や民間企業との併願であり、人手不足が叫ばれています現在、合格辞退者が多くでている現状にあります。その影響で、昨年度におきましても、年間通して 4 回の試験を実施し、職員確保をしたところでありますが、今年度においても、現在第 4 回目の採用試験を実施中で、来週に 2 次試験を予定しているところであります。

次に、2 点目は、職員の通年でのネクタイ着用の自由化の取り組みであります。数日前から、日本列島に今シーズン最強の寒波が襲来し、全国各地において、大雪の影響による行動規制が呼びかけられている状況にあります。幸いにも、武豊町においては、今のところ雪の影響はありませんが、今日も、大変お寒い中、皆様にお集まりいただいたところであります。本町では、以前より、脱炭素社会実現の先頭に立ち「ウォームビズ」「クールビズ」に取り組んできたところでありますが、今年度より、更に、通年でのネクタイ着用の自由化の取り組みを開始いたしました。昨年度までは、ウォームビズ期間でも、基本はネクタイ着用でありましたが、現在はノーネクタイや、タートルネックシャツなどでの勤務を可能としております。そういったことで、職員の服装がカジュアルになっておりますが、「来庁者に不快感を与えない服装」、「式典や会議などは TP0 をわきまえた服装」とすることを大前提としおりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。私からは以上となります。

(企画政策課長)

私からは、2 点のご報告をさせていただきます。1 点目は、35 年前に役場の中庭に埋設された「タイムカプセル」の開封についてであります。2 月の広報において、既に

お知らせをさせていただいておりますが、武豊町制70周年記念事業の「おおとり」となるこの事業は、3月20日（祝木）中央公民館の講堂において開催いたします。タイムカプセルは、今から35年前の合併35周年記念事業として、当時の様々な人達の思いを込めて役場の中庭に埋設をされました。このタイムカプセルを町民の皆さまと当時を振り返りながら開封したいと考えております。既に中庭から取り出されたタイムカプセルは、現在、役場1階ロビーに展示しており、カプセルの中には、当時の小中学生が35年後をテーマにした作文や絵、また当時0歳・35歳だった人の写真など35年後に向けた思いの詰まった物が封入されています。封入した35年前は、現在、日本競馬会のレジェンドとして有名な武豊騎手を招いており、騎手立ち合いのもと、タイムカプセルの封入をいたしました。今回の開封にあたり武豊騎手の事務所と1年ほど前から連絡を取らせていただいております、この度タイムカプセルの開封に武豊町へお越しただけることとなりました。予定通りお越しいただき、70周年記念事業の締めめの事業として盛大に開催出来るよう、準備を進めているところであります。

2点目は、「NPO法人 知多から世界」が主催する中学生の海外派遣事業についてであります。この海外派遣事業は、「NPO法人 知多から世界」が平成27年度から知多5市5町の中学2年生を対象に、毎年イギリスへ20人程度研修生として派遣しており、中学生の国際感覚を高めるために実施している事業であります。令和6年度は、参加者20人のうち武豊町から5人の生徒（武中3名、富貴中2名）が令和6年7月27日（土）から8月13日（火）の約2週間参加いたしました。この事業に参加した生徒達の報告会が、2月14日（金）15時頃から常滑市のボートレースとこなめの中にあります「トコタンホール」において開催されます。参加した富貴中の生徒からは、イギリスでの語学研修及び課外活動を経験し、日本にいては経験できない貴重な経験ができた。海外への興味が増し、今後に活かしていきたいと感想を述べていました。

企画政策課からのご報告は以上となります。

（教育部長）

貴重なご意見をありがとうございました。本日いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

5. その他

（教育部長）

それでは、その他について、事務局お願いします。

（指導主事）

事務局より、2点連絡をさせていただきます。

1点目は、会の始めにもありましたが、本日の協議については、議事録を作成しホームページにて公表させていただきますので、ご承知おきください。

2点目です。また、令和7年度の総合教育会議につきましては、現在のところ、9月11日（木）と2月12日（木）を予定しています。

連絡は以上です。よろしくお願いします。

（教育部長）

その他、みなさまから何かございますか。

(教育部長)

無いようですので、これをもちまして、令和6年度第2回武豊町総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございました。